

施策 3 1 3

「ものづくりのまち すみだ」を
プロモーションする

令和 8 年度 施策評価シート

基本目標	Ⅲ 新しい事業が起き、人が集まる「すみだ」をつくる
政 策	310 新しい価値を創造し、産業の進化・発展を図る
施 策	313 「ものづくりのまち すみだ」をプロモーションする
施策の目標	すみだのものづくり企業が、技術やデザイン、経営手法等に高いクオリティを備え、SDGsの視点を踏まえた商品やサービスを提供し、それらをさまざまな手法でプロモーションすることにより、携わる人たちが大きな働きがいを感じています。また、これによって実現される、すみだでの働き方、暮らし方、まちづくりを知った国内外の人々がすみだの取り組みに共感し、すみだのファンになっています。

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	区が「ものづくりのまち」であることを実感し、誇りに思う区民の割合				
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	R2
目標	—	—	—	—	—
実績	—	—	58%	—	65%
	R3	R4	R5	R6	R7
目標	—	—	—	—	—
実績	—	64%	—	65%	—

指標名	区内製造業における付加価値額（単位：百万円）				
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	R2
目標	—	—	—	—	160,000
実績	149,157	—	—	—	163,760
	R3	R4	R5	R6	R7
目標	—	—	—	—	170,000
実績	—	—	—	—	—

2 目標と現状（実績）についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移（千円）	
付加価値の高い商品を生み、さらに販路拡大していくためには、意欲ある事業者の積極的・横断的な取組を促すとともに、国内外でなお一層認知されるようになる施策を展開していくことが求められる。従来は、本区のものづくりのまちとしての認知度の向上を図る指標をホームページへのアクセス数としていたが、SNSの利用者増等、様々なメディアによる情報取得が可能な昨今においては、本施策の効果を測る指標として不適切であることから、令和2年度から上記のとおり指標を変更した。	R5	128,484
	R6	140,117
	R7	122,534

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	住民意識調査の結果によると、本区の「ものづくりのまち」としての評価は一定の水準を満たしているといえる。しかし、各事業及び関係する区内事業者の魅力的な取組については、より一層の効果的な発信が必要と考える。

4 今後の施策の運営方針

施策の戦略的方向性	
○	（１） 優先的に資源投入を図る
●	（２） 現状維持とする
○	（３） 現状維持だが、より効率的な運営を図る
○	（４） 資源投入の縮小を図る
上記の判断理由	
引き続き、「ものづくりのまち」としてのブランド力の向上を図っていく必要がある。	
今後の具体的な方針	
3M運動参加事業者や「すみだモダン」ブランド認証事業者など、ものづくり事業者等と連携して、区内外に認知される訴求力の高いプロモーションを推進する。	

5 この施策に係る事務事業

番号	事務事業名	主管課	決算額(A) (千円)	人コスト(B) (千円)	総事業費 (A+B) (千円)	評価結果
1	区内企業の操業環境改善支援補助事業費	経営支援課	2,522	1,738	4,260	現状維持
2	区内中小企業知的財産権取得支援事業費	経営支援課	1,817	1,738	3,555	現状維持
3	区内生産品等販路拡張補助事業費	経営支援課	6,967	1,738	8,705	改善・見直しのうえ継続
4	地域ブランド戦略の推進経費	産業振興課	31,642	34,768	66,410	現状維持
5	ものづくりプロモーションの推進経費（産業振興課）	産業振興課	17,605	6,954	24,559	現状維持
6	3M運動認定事業者補助事業費	産業振興課	7,221	7,823	15,044	改善・見直しのうえ継続

令和8年度 事務事業評価シート

No. 1

施 策	313 「ものづくりのまち すみだ」をプロモーションする					
事 業 名	区内企業の操業環境改善支援補助事業費					
主管課	経営支援課				電話番号（内線）	5426
目 的	区内ものづくり企業が操業環境の改善（工場の改修、墨田区への移転、設備更新等）や住民受入環境整備をする際にかかる経費の一部を助成することで、区内企業と地域との共生を推進する。					
対 象 者	区内に本社又は事業所の登記があり、区内において1年以上操業する企業又は区外において1年以上操業し、新たに区内に移転する企業等					
根拠法令 関連計画	都内ものづくり企業地域共生推進事業費補助金交付要綱 墨田区ものづくり企業地域共生推進助成金交付要綱					
実施基準	都基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2	
事業内容	以下の補助対象事業に対して、補助金を交付する。 ・近隣住民等への配慮を前提とした、防音、防臭、防振等の操業環境改善事業 ・地域との共生を目的とした住民受入環境整備事業 ・地震発生時の倒壊等により、工場の周囲の住居に危険が及ぶことの防止を目的とした耐震補強事業 1 操業環境改善事業及び住民受入環境整備事業（100万円以上の事業） 補助上限額375万円、区=1/4 都=1/2 2 耐震補強事業 (1) 耐震診断事業（50万円以上の事業） 補助上限額200万円、区=1/3 都=1/3 (2) 耐震設計事業（100万円以上の事業） 補助上限額400万円、区=1/3 都=1/3 (3) 耐震工事事業（200万円以上の事業） 補助上限額800万円、区=1/3 都=1/3					
経 過	開始年度	令和2年度			終了予定	
	・令和2年度より事業開始 近年、工場の周辺に住宅等が建設される例が増え、住工混在の問題が発生している。区内ものづくり企業が今後も操業を継続し、地域産業が持続的な発展を行っていくため、東京都の補助事業を活用し、区として助成を行うこととした。					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	1 他区の状況 : 以下の7区が類似制度を導入 大田区、品川区、足立区、板橋区、世田谷区、江戸川区、荒川区 2 都への負担金請求 区が都負担分を含めて補助を行った後、年度終了後に補助案件をとりまとめて都へ請求する。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		6,000	7,200	7,200	2,087	2,800	3,750
A. 決算額（令和8年度は見込み）		5,904	3,450	7,197	2,066	2,522	3,750
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	3,935	2,300	4,797	1,377	1,680	2,500
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		1,969	1,150	2,400	689	842	1,250
執行率（％）		98.4％	47.92％	99.96％	98.99％	90.07％	100％
B. 人コスト		1,759	1,636	1,702	1,831	1,738	
総事業費（A+B）		7,663	5,086	8,899	3,897	4,260	
予算書P（令和8年度）		P194-12		執行実績報告書P（令和7年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和6年度（決算）		令和7年度（決算）		令和8年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
負担金補助及び交付金	2,066	負担金補助及び交付金	2,522	負担金補助及び交付金	3,750
概 要		概 要		概 要	
助成金		助成金		助成金	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	申請件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		2	令和7年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	5	2	3	2	2	2
		実績	1	8	3	3	2	2
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		申請件数により、区内の需要が確認できるため。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	補助金交付件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		2	令和7年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	5	2	3	2	2	2
		実績	1	4	1	2	2	2
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		交付件数により成果が確認できるため。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	申請件数は少ないが、工場等の隣地が住宅となる事例も多いことから、区内の事業者数を維持し、周囲の環境に配慮した上で事業を継続できるよう、引き続き支援が必要である。区民からの声が寄せられる環境保全課等と情報連携し、支援が必要な事業者へ適切に案内を行っていく。

課題・問題点
・現地調査において、当課だけでなく、環境保全課や建築指導課など他部署の専門的知見が必須であることも含め、申請内容等をよく精査し、交付決定事業者を見極めることが重要である。 ・悪臭や粉塵などは法令上の基準がないため、審査の際の判断が難しい。

令和 8 年度 補助金評価シート

No. 1

補助金名	墨田区ものづくり企業地域共生推進助成金		
主管課	経営支援課	電話番号（内線）	5426
根拠法令	墨田区ものづくり企業地域共生推進助成金交付要綱		
補助概要	区内ものづくり企業の地域との共生のため、東京都と墨田区が連携し、操業環境の改善（工場の改修、墨田区への移転、設備更新等）や住民受入環境整備をする際にかかる経費の一部を助成する。		
目 的	区内ものづくり企業が操業環境の改善（工場の改修、墨田区への移転、設備更新等）や住民受入環境整備をする際にかかる経費の一部を助成することで、区内企業と地域との共生を推進する。		
対 象	区内に本社又は事業所の登記があり、区内において1年以上操業する企業又は区外において1年以上操業し、新たに区内に移転する企業等		
基 準	都基準		
補助条件	以下の補助対象事業に対して、補助金を交付する。 ・ 近隣住民等への配慮を前提とした、防音、防臭、防振等の操業環境改善事業 ・ 地域との共生を目的とした住民受入環境整備事業 ・ 地震発生時の倒壊等により、工場の周囲の住居に危険が及ぶことの防止を目的とした耐震補強事業 1 操業環境改善事業及び住民受入環境整備事業（100万円以上の事業） 補助上限額 375 万円、 区＝1/4 都＝1/2 2 耐震補強事業 (1) 耐震診断事業（50万円以上の事業） 補助上限額 200 万円、 区＝1/3 都＝1/3 (2) 耐震設計事業（100万円以上の事業） 補助上限額 400 万円、 区＝1/3 都＝1/3 (3) 耐震工事事業（200万円以上の事業） 補助上限額 800 万円、 区＝1/3 都＝1/3		
経 過	開始年度	令和 2 年度	終了予定
	・ 令和2年度より事業開始 近年、工場の周辺に住宅等が建設される例が増え、住工混在の問題が発生している。区内ものづくり企業が今後も操業を継続し、地域産業が持続的な発展を行っていくため、東京都の補助事業を活用し、区として助成を行うこととした。		
議会質問の状況			
その他特記事項	1 他区の状況 : 以下の7区が類似制度を導入 大田区、品川区、足立区、板橋区、世田谷区、江戸川区、荒川区 2 都への負担金請求 区が都負担分を含めて補助を行った後、年度終了後に補助案件をとりまとめて都へ請求する。		

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		6,000	7,200	7,200	2,087	2,800	3,750
A. 決算額（令和8年度は見込み）		5,904	3,450	7,197	2,066	2,522	3,750
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	3,935	2,300	4,797	1,377	1,680	2,500
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		1,969	1,150	2,400	689	842	1,250
執行率（％）		98.4 %	47.92 %	99.96 %	98.99 %	90.07 %	100 %

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	申請件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		2	令和 7 年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	5	2	3	2	2	2
		実績	1	8	3	3	2	2
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		申請件数により、区内の需要が確認できるため。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	補助金交付件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		2	令和 7 年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	5	2	3	2	2	2
		実績	1	4	1	2	2	2
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		交付件数により成果が確認できるため。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	申請件数が少ないが、工場等の隣地が住宅となる事例も多いことから、区内の事業者数を維持し周囲の環境に配慮した上で事業を継続できるよう、引き続き支援が必要である。区民からの声が寄せられる環境保全課等と情報連携し、支援が必要な事業者へ適切に案内を行っていく。

課題・問題点
・現地調査において、当課だけでなく、環境保全課や建築指導課など他部署の専門的知見が必須であることも含め、申請内容等をよく精査し、交付決定事業者を見極めることが重要である。 ・悪臭や粉塵などは法令上の基準がないため、審査の際の判断が難しい。

令和8年度 事務事業評価シート

No. 2

施 策	313 「ものづくりのまち すみだ」をプロモーションする					
事 業 名	区内中小企業知的財産権取得支援事業費					
主管課	経営支援課				電話番号（内線）	5439
目 的	区内中小企業が特許権等の知的財産権を活用し、市場での優位性の確保及び経営体質の強化を図る。					
対 象 者	区内中小企業で、知的財産権に係る出願人					
根拠法令 関連計画	墨田区知的財産権取得補助金交付要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1・すみだビジネスサポートセンター	
事業内容	区内中小企業が特許権等の知的財産権取得のための出願等に要した経費の一部を補助する。 【対象の知的財産権】 ・特許権 ・実用新案権 ・意匠権 ・商標権 【対象経費・補助額】 出願料、登録料、弁理士委託料等の合計額の1/2（上限20万円） 【申請期限】 特許庁への出願日から2年以内（令和4年4月～）					
経 過	開始年度	平成24年度			終了予定	
	・平成24年4月～：事業開始（すみだ中小企業センター） ・平成29年4月～：すみだ中小企業センター廃止に伴い、経営支援課へ所管替え ・令和4年4月～：申請期限を特許庁への出願日から2年以内へ延長					
議会質問 の 状 況	[令和3年 決算特別委員会] 補助金の申請期限について、実態に合わせ期間を延長してもらいたい。（自由民主党）					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		1,995	2,710	2,506	2,245	2,250	2,250
A. 決算額（令和8年度は見込み）		1,950	2,250	2,438	1,825	1,817	2,250
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		1,950	2,250	2,438	1,825	1,817	2,250
執行率（％）		97.74％	83.03％	97.29％	81.29％	80.76％	100％
B. 人コスト		2,639	2,454	1,702	1,831	1,738	
総事業費（A+B）		4,589	4,704	4,140	3,656	3,555	
予算書P（令和8年度）		P195-16(3)		執行実績報告書P（令和7年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和6年度（決算）		令和7年度（決算）		令和8年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
負担金補助及び交付金	1,825	負担金補助及び交付金	1,817	負担金補助及び交付金	2,250
概 要		概 要		概 要	
補助金		補助金		補助金	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	すみだビジネスサポートセンターの相談件数				単位	件
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		80	令和7年度	目標	80	80	80	80
				実績	52	67	20	11
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	80	80	80	80	80	80
		実績	57	45	30	25	16	16
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		財産相談が対象補助金交付者の要件の一つであるため。 目標値は、過去5年間の相談件数の平均値をキープするように設定。						
事業の成果	目的に対する指標 (成果指標)	指標	交付件数				単位	件
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		12	令和7年度	目標	12	12	12	12
				実績	9	18	14	11
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	12	12	12	12	12	12
		実績	17	19	20	25	16	16
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		具体的な成果の件数を把握できるため選定 過去の実績を元に、より多くの事業者から利用してもらえる数値を設定						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	知的財産権取得には、先行技術調査、出願料、弁理士手数料等の費用がかかるため、今後も区内企業からのニーズはあると考えられる。

課題・問題点
区が経費の一部補助をすることで、区内中小企業が特許権等の知的財産権を取得し、市場での優位性の確保や競争力の向上等、経営体質強化の支援をすることができている。 出願後・登録後の有益性や活用状況等の把握のため、事業者からの相談の際に状況の聞き取りを行っていく。

令和 8 年度 補助金評価シート

No. 2

補助金名	墨田区知的財産権取得補助金		
主管課	経営支援課	電話番号（内線）	5439
根拠法令	墨田区知的財産権取得補助金交付要綱		
補助概要	区内中小企業が特許権等の知的財産権取得のための出願等に要した経費の一部を補助する。		
目 的	区内中小企業が特許権等の知的財産権を活用し、市場での優位性の確保及び経営体質の強化を図る。		
対 象	墨田区知的財産権取得補助金交付要綱第3条に規定する補助金の交付対象事業者のとおり		
基 準	区独自基準		
補助条件	【対象の知的財産権】 ・特許権 ・実用新案権 ・意匠権 ・商標権 【対象経費・補助額】 出願料、登録料、弁理士委託料等の合計額の1/2（上限20万円） 【申請期限】 特許庁への出願日から2年以内（令和4年4月～）		
経 過	開始年度	平成24年度	終了予定
	・平成24年4月～：事業開始（すみだ中小企業センター） ・平成29年4月～：すみだ中小企業センター廃止に伴い、経営支援課へ所管替え ・令和4年4月～：申請期限を特許庁への出願日から2年以内へ延長		
議会質問の状況	[令和3年 決算特別委員会] 補助金の申請期限について、実態に合わせ期間を延長してもらいたい。（自由民主党）		
その他特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		1,995	2,710	2,506	2,245	2,250	2,250
A. 決算額（令和8年度は見込み）		1,950	2,250	2,438	1,825	1,817	2,250
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		1,950	2,250	2,438	1,825	1,817	2,250
執行率（％）		97.74％	83.03％	97.29％	81.29％	80.76％	100％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	すみだビジネスサポートセンターの相談件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		80	令和 7 年度	目標	80	80	80	80
				実績	52	67	20	11
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	80	80	80	80	80	80
		実績	57	45	30	25	16	16
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指標の選定理由及び目標値の理由						
		指標の選定理由：相談が知的財産権取得補助金の交付対象者の要件の一つとなっているため。 目標値の理由：過去 5 年間の相談件数の平均値を維持する。						
		指 標	交付件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		12	令和 7 年度	目標	12	12	12	12
				実績	9	18	14	11
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	12	12	12	12	12	12
		実績	17	19	20	25	16	16
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		指標の選定理由：具体的な成果の件数を把握できるため。 目標値の理由：過去の実績を元に、より多くの事業者にも利用してもらえる目標値を設定						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	知的財産権取得には、先行技術調査、出願料、弁理士手数料等の費用がかかるため、今後も区内企業からのニーズはあると考えられる。

課題・問題点
区が経費の一部補助をすることで、区内中小企業が特許権等の知的財産権を取得し、市場での優位性の確保や競争力の向上等、経営体質強化の支援をすることができている。 出願後・登録後の有益性や活用状況等の把握のため、事業者からの相談の際に状況の聞き取りを行っていく。

令和8年度 事務事業評価シート

No. 3

施 策	313 「ものづくりのまち すみだ」をプロモーションする					
事 業 名	区内生産品等販路拡張補助事業費					
主管課	経営支援課				電話番号（内線）	5428
目 的	区内の中小企業の優れた技術等の発信や技術力の事業化を促し、大手企業に対する営業力強化・販路開拓支援によるビジネスチャンスの拡大により区内産業の活性化を図る。					
対 象 者	①区内に事業所を有する中小企業5社以上で構成される団体又はその支部で、国内販路拡張事業を行おうとするもの ②区内に事業所を有する中小企業で、国内販路拡張事業または海外販路拡張事業を行おうとするもの					
根拠法令 関連計画	区内生産品等販路拡張事業補助金交付要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2	
事業内容	区内の生産品等の販路拡張事業を実施する団体又は企業に対し、経費の一部を助成し、区内の中小企業の振興を図る。					
経 過	開始年度	昭和53年度			終了予定	
	昭和53年度：当該事業の開始 平成3年度：対象事業に「海外での展示会の開催等」（限度額300万円）を追加 平成7～9年度：産業国際交流事業補助（海外視察経費等：限度額500万円）の廃止 平成11年度：海外見本市出展支援事業を統合 平成15年度：海外見本市出展補助の休止（区財政上の問題及び都に類似の助成制度があったため） 平成28年度：海外販路拡張事業補助の再開 平成29年度：国内（1社）販路拡張事業補助の開始 令和4年度：創業者について補助率を2/3に拡充 令和7年度：補助上限額を拡充（団体100万円、国内20万円、海外40万円）					
議会質問 の 状 況	〔令和7年度決算特別委員会〕補助利用実績等について					
そ の 他 特記事項	物価高騰等の社会経済状況の変化を踏まえ、令和7年12月11日付けで補助上限額の拡充を行った。このことに伴い、令和7年度墨田区議会定例会11月議会における補正予算（第9号）により予算措置を行った。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		9,977	9,220	6,781	6,991	12,000	10,000
A. 決算額（令和8年度は見込み）		4,186	5,074	4,868	5,861	6,967	10,000
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		4,186	5,074	4,868	5,861	6,967	10,000
執行率（％）		41.96％	55.03％	71.79％	83.84％	58.06％	100％
B. 人コスト		2,639	2,454	1,702	1,831	1,738	
総事業費（A+B）		6,825	7,528	6,570	7,692	8,705	
予算書P（令和8年度）		P195-16(2)		執行実績報告書P（令和7年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和6年度（決算）		令和7年度（決算）		令和8年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
負担金補助及び交付金	5,861	負担金補助及び交付金	6,967	負担金補助及び交付金	10,000
概 要		概 要		概 要	
補助金・交付金		補助金・交付金		補助金・交付金	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	区内事業者のビジネス相談件数(すみサポ)				単位	件
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	H31	
		2,660	令和7年度	目標	—	1,460	1,610	1,760
				実績	—	1,249	1,345	1,680
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,910	2,060	2,210	2,360	2,510	2,660
		実績	2,237	3,276	2,043	2,765	2,512	2,869
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		相談件数の増加により、区内生産品等販路拡張事業補助金の周知・利用につながる事が期待できるため。						
事業の成果	目的に対する指標 (成果指標)	指標	交付件数				単位	件
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	H31	
		17	令和7年度	目標	9	15	15	15
				実績	12	25	38	45
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	16	16	16	17	17	17
		実績	14	24	28	29	33	40
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		交付件数の増加により、区内生産品の販路拡張につながり、区内産業の活性化が期待できるため。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	令和3年度から交付件数が増加傾向にあり、利用者ニーズが高まっていることを受け、令和7年度に補助上限額の拡充を行った。今後も社会経済状況の変化等を踏まえて、制度の改善・見直しについて検討していく。

課題・問題点
社会経済状況や利用者ニーズを踏まえ、制度の改善・見直しについて検討していく必要がある。

令和 8 年度 補助金評価シート

No. 3

補助金名	区内生産品等販路拡張事業補助金		
主管課	経営支援課	電話番号（内線）	5428
根拠法令	区内生産品等販路拡張事業補助金交付要綱		
補助概要	区内の生産品等の販路拡張事業を実施する団体又は企業に対し、経費の一部を助成し、区内の中小企業の振興を図る。		
目 的	区内の中小企業の優れた技術等の発信や技術力の事業化を促し、大手企業に対する営業力強化・販路開拓支援によるビジネスチャンスの拡大により区内産業の活性化を図る。		
対 象	①区内に事業所を有する中小企業5社以上で構成される団体又はその支部で、国内販路拡張事業を行おうとするもの ②区内に事業所を有する中小企業で、国内販路拡張事業又は海外販路拡張事業を行おうとするもの		
基 準	区独自基準		
補助条件	対象①(団体)：補助対象経費の2分の1の額(千円未満切捨て)又は85万円(※1)のうち、いずれか少ない額 対象②(国内1社)：補助対象経費の2分の1の額(千円未満切捨て)又は10万円(※2)のうち、いずれか少ない額。ただし、創業者の場合は補助対象経費の3分の2の額(千円未満切捨て)又は10万円(※2)のうち、いずれか少ない額 対象③(海外1社)：補助対象経費の2分の1の額(千円未満切捨て)又は30万円(※3)のうち、いずれか少ない額。 ※1：令和7年12月11日以降は、100万円 ※2：令和7年12月11日以降は、20万円 ※3：令和7年12月11日以降は、40万円		
経 過	開始年度	昭和53年度	終了予定
	昭和53年度：当該事業の開始 平成3年度：対象事業に「海外での展示会の開催等」（限度額300万円）を追加 平成7～9年度：産業国際交流事業補助（海外視察経費等：限度額500万円）の廃止 平成11年度：海外見本市出展支援事業を統合 平成15年度：海外見本市出展補助の休止（区財政上の問題及び都に類似の助成制度があったため） 平成28年度：海外販路拡張事業補助の再開 平成29年度：国内（1社）販路拡張事業補助の開始 令和4年度：創業者について補助率を2/3に拡充 令和7年度：補助上限額を拡充（団体100万円、国内20万円、海外40万円）		
議会質問の状況	〔令和7年度決算特別委員会〕補助利用実績等について		
その他特記事項	物価高騰等の社会経済状況の変化を踏まえ、令和7年12月11日付けで補助上限額の拡充を行った。このことに伴い、令和7年度墨田区議会定例会11月議会における補正予算（第9号）により予算措置を行った。		

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		9,977	9,220	6,781	6,991	12,000	10,000
A. 決算額（令和8年度は見込み）		4,186	5,074	4,868	5,861	6,967	10,000
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		4,186	5,074	4,868	5,861	6,967	10,000
執行率（％）		41.96％	55.03％	71.79％	83.84％	58.06％	100％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	区内事業者のビジネス相談件数(すみサポ)				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		2,660	令和7年度	目標	—	1,460	1,610	1,760
				実績	—	1,249	1,345	1,680
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,910	2,060	2,210	2,360	2,510	2,660
		実績	2,237	3,276	2,043	2,765	2,512	2,869
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		相談件数の増加により、区内生産品等販路拡張事業補助金の周知・利用につながることを期待できるため。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	交付件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		17	令和7年度	目標	9	15	15	15
				実績	12	25	38	45
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	16	16	16	17	17	17
		実績	14	24	28	29	33	40
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		交付件数の増加により、区内生産品等の販路拡張につながり、区内産業の活性化が期待できるため。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	令和3年度から交付件数が増加傾向にあり、利用者ニーズが高まっていることを受け、令和7年度に補助上限額の拡充を行った。今後も社会経済状況の変化等を踏まえて、制度の改善改善・見直しのうえ継続・見直しについて検討していく。

課題・問題点
社会経済状況や利用者ニーズを踏まえ、制度の改善・見直しについて検討していく必要がある。

令和8年度 事務事業評価シート

No. 4

施 策	313 「ものづくりのまち すみだ」をプロモーションする				
事 業 名	地域ブランド戦略の推進経費				
主管課	産業振興課			電話番号（内線）	5444
目 的	「ものづくり」を軸とした地域の産業ブランディングを実践し、区内産業を活性化するとともに、それを誇りに思う区民を増やし、世界に通ずる「ものづくりのまち」としての地位を確立する。				
対 象 者	区内事業者、区内で新規事業を興したい事業者、ものづくりに関心がある区民				
根拠法令 関連計画	産業と観光の将来構想				
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤4・委託先：株式会社廣村デザイン事務所ほか
事業内容	●つながら（パートナーシップ連携）事業：すみだモダンに相応しい活動を選定し、それを実践する事業者または区の理念に共感する事業者と共同リリースや展示会でのPR等を行う（すみだモダン2025は新たに6活動を認証した）。また、すみだモダンを生み出すための「すみだモダンコミュニティ」もクリエイティブディレクターの廣田尚子氏の運営のもと定期的に開催し、イノベーションの誘発や異分野連携を促進させていく。●つくる（商品開発、台湾連携・千葉大学連携）事業：すみだモダンの価値観を体現する質の高い商品を生み出すため、事業者とデザイナーを組ませて統括するクリエイティブディレクターを選任し、商品開発を実施。（令和6年度末で終了。）また、台湾デザイン研究院及び千葉大学とで締結した協定に基づき「台湾商品開発プロジェクト」を進めていくほか、千葉大学と直接連携して、教授や学生を交えたすみだモダンのプロモーションツールの作成を行う。●つたえる（ブランドコミュニケーション展開）事業：すみだモダンの取組を多様なメディアを通じて広く内外に発信し、すみだのファンを増やしていく。				
経 過	開始年度	平成21年度			終了予定
	・平成20年度 ・平成21年度 ・平成24年度 ・平成27年度 ・平成30年度 ・令和元年度 ・令和2年度 ・令和3年度 ・令和4年度 ・令和5年度 ・令和6年度 ・令和7年度	すみだ地域ブランド戦略推進検討委員会による地域ブランディングの検討。 すみだ地域ブランド推進協議会設置、地域ブランド戦略推進事業の開始。 区内のオープンファクトリーイベント「スミファ」開始。 台湾デザインセンターと連携事業に関する覚書締結、台湾商談会等を実施。すみだ地域ブランド戦略の取組がグッドデザイン賞を受賞。 すみだモダン認証商品・メニューが約200商品・メニューとなる。ブランド戦略の見直し開始。 すみだ地域ブランド戦略の再構築に向けた検討。ベストオブすみだモダンの選定。 これまでの事業の効果検証。新たなすみだ地域ブランド戦略の再構築と実施事業の決定。 新たなすみだ地域ブランド戦略（すみだモダン）の開始（令和3年9月）。 すみだモダン2022をブランド認証（13活動）。 すみだモダン2023をブランド認証（9活動）、すみだモダンコミュニティを計5回開催。すみだモダンフラッグシップ商品開発から生まれた商品（3商品）の販売を実施。台湾デザイン研究院・千葉大学と3者協定を締結。 すみだモダン2024をブランド認証（5活動）。すみだモダンコミュニティを計6回開催。すみだ地域ブランド戦略推進事業の海外展開（区長のトップセールス）の実施。 すみだモダン2025をブランド認証（6活動）。すみだモダンコミュニティを計6回開催。台湾デザイナー等との連携による商品開発から生まれた商品（5商品）の販売を実施。			
議会質問 の 状 況	なし				
そ の 他 特記事項	なし				

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		37,100	47,100	40,980	40,320	33,205	34,939
A. 決算額（令和8年度は見込み）		35,099	41,136	33,907	37,841	31,642	34,939
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	18,550	20,363	16,778	18,231	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		16,549	20,773	17,129	19,610	31,642	34,939
執行率（％）		94.61％	87.34％	82.74％	93.85％	95.29％	100％
B. 人コスト		35,184	32,716	34,048	36,616	34,768	
総事業費（A+B）		70,283	73,852	67,955	74,457	66,410	
予算書P（令和8年度）		P193-5		執行実績報告書P（令和7年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和6年度（決算）		令和7年度（決算）		令和8年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	32,124	委託料	26,656	委託料	25,700
負担金補助及び交付金	4,881	負担金補助及び交付金	3,818	負担金補助及び交付金	7,700
旅費	837	旅費	785	旅費	1,239
		需用費	385	需用費	300
概 要		概 要		概 要	
すみだモダン公式サイト管理運営等業務委託、すみだモダンパンフレット作成業務委託等。		すみだモダン公式サイト管理運営等業務委託、すみだモダンパンフレット作成業務委託等。		すみだモダン公式サイト管理運営等業務委託、すみだモダンパンフレット作成業務委託等。	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	展示会等への出展数				単位	回
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		10	令和7年度	目標	10	10	10	10
				実績	7	10	9	10
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10	15	10	10	10	10
		実績	5	8	10	14	11	16
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		すみだモダンの知名度・関心度向上を図るためには、催事や展示会等へ積極的に参加するとともに区内施設等でも展示を行い幅広い周知を行う必要があるため、その回数を指標として選定する。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	すみだモダン（すみだ地域ブランド戦略）への関心度				単位	%
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		80	令和7年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	50	50	65	65	80	80
		実績	未実施	64	64	86	90	88
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		すみだモダンへの関心度がどれだけ高まったかを評価するため、展示会等に来た人に対してアンケートを実施。令和5年度時点で目標値を達成したため6年度以降目標値を見直した。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	商品に対する消費者の価値観や区内事業者の活動の変化を踏まえて、すみだモダンはリスタートを切ったが、その理念をより効果的に訴求できるよう、事業者視点に立った事業展開を行う。

課題・問題点
- 新たな戦略を開始したことを受け、各事業が軌道に乗るような様々な手法を検討しながら、より効果の高い事業展開を行う。 - 区民への理解浸透も課題であるため、分かりやすく丁寧な情報発信に努める。

令和 8 年度 補助金評価シート

No. 4

補助金名	すみだ地域ブランド推進協議会運営補助金		
主管課	産業振興課	電話番号（内線）	5444
根拠法令	すみだ地域ブランド推進協議会運営補助金交付要綱		
補助概要	「すみだモダン」事業において、事業推進団体であるすみだ地域ブランド推進協議会へ補助金を交付する。		
目 的	すみだ地域ブランド推進協議会の運営に必要な経費の一部を補助することにより、協議会の積極的な活動を促進し、並びに地域ブランド力向上による中小企業の産業振興及びネットワーク構築を図り、もって地域経済の発展と活性化に資することを目的としている。		
対 象	すみだ地域ブランド推進協議会		
基 準	区独自基準		
補助条件	この補助金の交付の対象は、協議会が行う次に掲げる事業に要する経費とする。 (1) 「すみだモダン事業」の企画及び運営に関する事業 (2) 地域ブランド力向上に関する事業 (3) 中小企業の産業振興及びネットワークの構築に係る事業 (4) その他区長が適当と認める事業		
経 過	開始年度	平成 2 5 年度	終了予定
	平成25年度に要綱制定。以降、予算額に応じて毎年度補助金を交付している。		
議会質問の状況	なし		
その他特記事項	なし		

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		4,000	4,000	4,000	3,500	3,500	6,200
A. 決算額（令和8年度は見込み）		3,987	3,461	3,760	2,881	3,344	6,200
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	1,811	1,556	1,707	1,306	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		2,176	1,905	2,053	1,575	3,344	6,200
執行率（％）		99.68％	86.53％	94％	82.31％	95.54％	100％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	SNS等による情報発信回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		250	令和 7 年度	目標	300	300	350	350
				実績	473	511	428	395
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	400	200	200	200	250	250
		実績	214	96	276	168	267	295
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		認知度向上を図るためにはSNS等を活用した継続的なプロモーションが必要なため、運用するSNS等の年間の合計投稿数を指標とする。令和3年度より集計方法を変更したため目標値も修正						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	すみだモダン（すみだ地域ブランド戦略）への関心度				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		80	令和 7 年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	50	50	65	65	80	80
		実績	未実施	64	64	86	90	88
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		すみだモダンへの関心度がどれだけ高まったかを評価するため、展示会等に来た人に対してアンケートを実施。令和5年度時点で目標値を達成したため、6年度以降目標値を見直した。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	補助金を支出している協議会の事業は、区の事業と密接に展開していく必要があるため、より実効性のある事業手法を有識者からの助言を踏まえ、検討・実行する。

課題・問題点
すみだ地域ブランド戦略に基づく新事業を軌道に乗せていくため、定期的な理事会を開催するとともに、すみだモダンブランド認証審査会のスキーム等についても、より効果的な手法を検討・実行する。

令和 8 年度 補助金評価シート

No. 4

補助金名	すみだモダンパートナー連携事業推進補助金		
主管課	産業振興課	電話番号（内線）	5444
根拠法令	すみだモダンパートナー連携事業推進補助金交付要綱		
補助概要	「すみだモダンコミュニティ」に参加する事業者に対し、プロジェクトを始める際のイニシャルコストとして補助金を交付する。		
目的	新たな異分野連携やイノベーションを誘発する機会を創出することで、「ものづくりのまち すみだ」としてのブランド力を向上する。		
対象	「すみだモダンコミュニティ」に登録している事業者		
基準	区独自基準		
補助条件	支援対象の要件は、次に掲げる要件をすべて備えているものとする。 (1) 未発表のオリジナル企画であること。 (2) 他の公的助成を受けていないものであること。 (3) 当該年度の末日までに商品化または試作品等、一定の成果物が確認できるものであること。 (4) 過去に本補助金を受けていない企画であること。		
経過	開始年度	令和 5 年度	終了予定
	令和 5 年度に要綱制定		
議会質問の状況	なし		
その他特記事項	なし		

予算・決算額推移（単位：千円）		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
予算現額（令和 8 年度は当初予算）		0	4,500	3,000	2,000	1,000	1,500
A. 決算額（令和 8 年度は見込み）		0	0	0	1,000	474	1,500
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	500	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	500	474	1,500
執行率（％）		－％	－％	－％	50％	47.4％	100％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	すみだモダンコミュニティイベント開催回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		5	令和 7 年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	5	5	5	5
		実績	—	—	1	6	6	6
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		本イベントの開催回数は、事業者同士の共創の可能性や、事業者の意欲を測るのに適した指標であるため						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	すみだモダンコミュニティ登録事業者				単 位	団体
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		200	令和 7 年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	50	100	150	200
		実績	—	—	40	109	152	184
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		上記の指標は実際にコミュニティ活動に興味がある事業者の数であり、事業者同士の共創を生み出し「ものづくりのまち すみだ」のブランド力向上に寄与したと考えられる数値であるため						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	本事業では、区が定期的に開催する「すみだモダンコミュニティ」に参加した事業者同士が交わることで、ものづくり産業に関する新たな異分野連携やイノベーションを誘発する機会の創出を目指す。

課題・問題点
「すみだモダンコミュニティ」に参加した事業者同士が新たな活動や商品を生み出し、その活動や商品を「すみだモダン」認証事業につなげていくため、より効果的な手法を検討・実行する。

令和8年度 事務事業評価シート

No. 5

施 策	313 「ものづくりのまち すみだ」をプロモーションする					
事 業 名	ものづくりプロモーションの推進経費（産業振興課）					
主管課	産業振興課			電話番号（内線）	5443	
目 的	区民が愛着と誇りを持てる「ものづくりのまち」としての統一的なブランドイメージを強化するため、区内事業者が連携した取組の更なる活性化を図るとともに、まち全体の認知度を高める。					
対 象 者	代表者を含む2者以上が補助対象要件を全て満たすグループ					
根拠法令 関連計画	墨田区ものづくりプロモーション推進補助金交付要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤4	
事業内容	区内のものづくり事業者が参画して実施するイベント等事業に対して、事業の実施に係る経費の一部を補助する。 ・代表者を含む2者以上が墨田区の認定等のいずれかをもち、当該事業の参加区内ものづくり事業者数が4者以上の場合、上限150万円（補助率10分の10）。ただし参加事業者が30者以上の場合については上限を100万円加算可能。 ・代表者が墨田区の認定等のいずれかをもち、当該事業の参加事業者数が2者以上の場合、上限30万円（補助率3分の2）。 ・代表者が墨田区の認定等のいずれかをもち、当該事業の参加事業者数が2者以上の場合、上限30万円（補助率2分の1）。等					
経 過	開始年度	平成21年度			終了予定	
	平成21年度・企業ガイドの運営開始 平成30年度・区の産業情報を一体的・効果的に発信する産業ポータルサイト「すみだ産業情報ナビ」開設 令和元年度・現行の補助金制度を開始（既存の3補助金、「イチから始める」運動補助金、墨田区ものづくりイベント補助金、3M運動PR実行委員会補助金を統合） ・産業支援施設のコンセプトワークを実施 令和2年度・産業支援施設の管理運営事業については、別事業として分離 令和3年度・「施策311・企業支援情報提供」及び「施策313・アウトオブキッザニア イン 墨田区事業」を本事業へ移管 ・「施策313・3M運動推進費」等の事業別6件のPR媒体を目的別3件に統合して作成 令和4年度・すみだ まち処廃止に伴い補助金対象者拡充のため要綱改正（少数のものづくり事業者又はクリエイターのグループによる活用ができるように拡充） 令和6年度・企業ガイドの運営終了 令和8年度・ものづくり事業者と他業種がコラボレーションしたイベント等の区分を追加するため要綱改正					
議会質問 の 状 況	[平成28年11月] スミファ等のイベントの支援強化について					
そ の 他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 予算・決算額推移は平成29年度から平成30年度までは、3事業に係る経費の合計額。事業の成果の平成29年度から平成30年度までは、3事業に係る指標の合計値。また、平成29年度から令和2年度までは「施策311・企業支援情報提供」と「施策313・キッザニア」の合計値（令和3年度で事業統合を行ったため）。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		14,317	22,175	19,921	18,039	18,000	22,000
A. 決算額（令和8年度は見込み）		13,645	18,313	16,182	16,713	17,605	22,000
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	4,550	6,757	6,458	7,596	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		9,095	11,556	9,724	9,117	17,605	22,000
執行率（％）		95.31％	82.58％	81.23％	92.65％	97.81％	100％
B. 人コスト		11,435	11,451	11,917	11,900	6,954	
総事業費（A+B）		25,080	29,764	28,099	28,613	24,559	
予算書P（令和8年度）		P193-6		執行実績報告書P（令和7年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和6年度（決算）		令和7年度（決算）		令和8年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
負担金補助及び交付金	16,713	負担金補助及び交付金	17,605	負担金補助及び交付金	22,000
概 要		概 要		概 要	
負担金、補助及び交付金：補助金交付		負担金、補助及び交付金：補助金交付		負担金、補助及び交付金：補助金交付	

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	補助金を活用した取組件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		8	令和7年度	目標	5	5	5	6
				実績	5	5	5	7
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	7	7	7	8	8	8
		実績	6	7	14	13	13	14
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		補助金の統合により、意欲的に活動する複数事業者の連携したものづくりプロモーション活動が活発になるため						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	取組事業への参加者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		30,000	令和7年度	目標	—	—	—	24,000
				実績	—	—	—	26,555
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	14,000	24,000	27,000	28,000	29,000	30,000
		実績	262,625	19,500	34,122	27,723	27,404	55,023
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		参加者数の増加により、「ものづくりのまち」としての認知度向上につながるため						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	例年、多くの事業者グループが補助金を活用したイベント等を実施し、「ものづくりのまちすみだ」のPRIに取り組んでいることから、引き続き事業を継続する。

課題・問題点
・事業者グループのさらなる増加を見据えた、補助金利用枠の確保。 ・事業者グループと連携したイベント等への集客の促進。

令和 8 年度 補助金評価シート

No. 5

補助金名	ものづくりプロモーション推進補助金		
主管課	産業振興課	電話番号（内線）	5443
根拠法令	墨田区ものづくりプロモーション推進補助金交付要綱		
補助概要	区内ものづくり事業者が参画して実施するイベント等事業に対して、事業の実施に係る経費の一部を補助する。事業を実施するグループの構成員ごとに、上限150万円（補助率10/10）、上限30万円（補助率2/3）、上限30万円（補助率1/2）		
目的	区民が愛着と誇りを持てる「ものづくりのまち」としての統一的なブランドイメージを強化するため、区内事業者が連携した取組の更なる活性化を図るとともに、まち全体の認知度を高める。		
対象	代表者を含む2者以上が要件を全て満たすグループ		
基準	区独自基準		
補助条件	・代表者を含む2者以上が墨田区の認定等のいずれかをもち、当該事業の参加区内ものづくり事業者数が4者以上の場合、 上限150万円（補助率10分の10）。ただし参加事業者が30者以上の場合については上限を100万円加算可能。 ・代表者が墨田区の認定等のいずれかをもち、当該事業の参加事業者数が2者以上の場合、 上限30万円（補助率3分の2）。 ・代表者が墨田区の認定等のいずれかをもち事業者と連携実績のあるクリエイターで、当該事業の参加区内ものづくり事業者数が2者以上の場合、上限30万円（補助率2分の1）。等 ※墨田区の認定：すみだ3M運動、すみだモダン、新ものづくり創出拠点の操業、すみだモダン・ブルーパートナー		
経過	開始年度	平成31年度	終了予定
	平成21年度・企業ガイドの運営開始 平成30年度・区の産業情報を一体的・効果的に発信する産業ポータルサイト「すみだ産業情報ナビ」開設 令和元年度・現行の補助金制度を開始（既存の3補助金、「イチから始める」運動補助金、墨田区ものづくりイベント補助金、3M運動PR実行委員会補助金を統合） ・産業支援施設のコンセプトワークを実施 令和2年度・産業支援施設の管理運営事業については、別事業として分離 令和3年度・「施策311・企業支援情報提供」及び「施策313・アウトオブキッザニア イン 墨田区事業」を本事業へ移管 ・「施策313・3M運動推進費」等の事業別6件のPR媒体を目的別3件に統合して作成 令和4年度・すみだ まち処廃止に伴い補助金対象者拡充のため要綱改正（少数のものづくり事業者又はクリエイターのグループによる活用ができるように拡充） 令和8年度・ものづくり事業者と他業種がコラボレーションしたイベントに対する区分を追加するため要綱改正		
議会質問の状況	〔平成28年11月〕 スミファ等のイベントの支援強化について		
その他特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 予算 ・決算額推移は平成29年度から平成30年度までは、3事業に係る経費の合計額。事業の成果の平成29年度から平成30年度までは、3事業に係る指標の合計値		

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		9,100	18,000	18,000	18,000	18,000	22,000
A. 決算額（令和8年度は見込み）		8,490	14,869	14,375	16,713	17,605	22,000
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	4,550	6,757	6,458	7,596	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		3,940	8,112	7,917	9,117	17,605	22,000
執行率（％）		93.3％	82.61％	79.86％	92.85％	97.81％	100％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	補助金を活用した取組件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		8	令和 7 年度	目標	5	5	5	6
				実績	5	5	5	7
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	7	7	7	8	8	8
		実績	6	7	14	13	13	14
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		補助金の統合により、意欲的に活動する複数事業者の連携したものづくりプロモーション活動が活発になるため						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	取組事業への参加人数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		30,000	令和 7 年度	目標	—	—	—	24,000
				実績	—	—	—	26,555
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	14,000	24,000	27,000	28,000	29,000	30,000
		実績	262,625	19,500	34,112	27,723	27,404	55,023
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		参加者数の増加により、「ものづくりのまち」としての認知度向上につながるため						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	例年、多くの事業者グループが補助金を活用したイベント等を実施し、「ものづくりのまちすみだ」のPRIに取り組んでいることから、引き続き事業を継続する。

課題・問題点
・事業者グループのさらなる増加を見据えた、補助金利用枠の確保。 ・事業者グループと連携したイベント等への集客の促進。

令和8年度 事務事業評価シート

No. 6

施 策	313 「ものづくりのまち すみだ」をプロモーションする					
事 業 名	3M運動認定事業者補助事業費					
主管課	産業振興課				電話番号（内線）	5442
目 的	区内産業と区内生産品が「正当な評価」さらに「より高い評価」を受けるようにするため、「小さな博物館」「マイスター」「工房ショップ」を認定し、その価値を自ら再確認していただくとともに地域や次世代への継承を図ることによって産業を活性化させ「工房文化（ものづくり文化）の都市」の土壌をつくる。					
対 象 者	3M運動認定事業者					
根拠法令 関連計画	・小さな博物館支援要綱 ・すみだ工房ショップ支援要綱 ・すみだマイスターものづくり事業補助要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤3	
事業内容	1 「小さな博物館」運動推進経費 整備費補助、運営費補助（人件費相当及び施設維持管理費） 2 「工房ショップ」創出推進経費 整備費補助 3 「マイスター」運動推進経費 講習会等、技術の継承に資する活動の経費補助 4 認定審査会運営経費等 (1) 3M運動認定事業者の新規認定及び認定更新 (2) 工房文化の都市企画委員（認定審査委員）と認定事業者の意見交換等 5 「ものづくりのまち すみだ」PRイベント実施					
経 過	開始年度	昭和60年度			終了予定	
	昭和60年度	事業開始				
	昭和61年度	小さな博物館認定開始				
	昭和63年度	モデルショップ認定開始				
	平成元年度	マイスター認定開始				
	平成10年度	工房ショップ認定開始				
	平成21年度～	3M運動スペシャルウィーク				
	平成26年度	3M運動30周年祭				
	平成27年度	小さな博物館の土日開館に係る上乗せ補助を開始				
	平成30年度末	認定更新制の導入等のための要綱改正				
	令和元年度	認定更新制導入、小さな博物館の運営補助金額改定				
	令和2年度	工房ショップ整備補助金の2回目以降の補助上限額、再度補助を受けられるまでの期間を改正				
	令和5年度	小さな博物館支援要綱改正、休止制度を導入				
	令和6年度	3M運動40周年事業実施				
議会質問 の 状 況	[平成28年11月] 外国人向けツアー及び外国語パンフレットについて [平成30年6月] 小さな博物館とその他の企業博物館の連携について [平成30年11月] 工房ショップにおけるキャッシュレス化について [令和元年6月] 3M運動の成果及び小さな博物館の改善について [令和元年11月] 3M運動の成果について [令和2年10月] 小さな博物館の来館者数について [令和3年11月] 小さな博物館の開館及びワークショップ実施の状況について					
そ の 他 特記事項	なし					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		11,360	9,418	9,862	15,904	9,853	16,796
A. 決算額（令和8年度は見込み）		6,782	7,143	6,862	12,648	7,221	16,796
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		6,782	7,143	6,862	12,648	7,221	16,796
執行率（％）		59.7％	75.84％	69.58％	79.53％	73.29％	100％
B. 人コスト		6,157	5,725	5,958	9,154	7,823	
総事業費（A+B）		12,939	12,868	12,820	21,802	15,044	
予算書P（令和8年度）		P192-4		執行実績報告書P（令和7年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和6年度（決算）		令和7年度（決算）		令和8年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
負担金補助及び交付金	10,378	負担金補助及び交付金	6,907	負担金補助及び交付金	14,438
委託料	1,607	報償費	234	委託料	1,086
需用費	364	委託料	66	報償費	864
報償費	258	役務費	12	需用費	356
役務費	42	需用費	3	役務費	52
概 要		概 要		概 要	
報償費：委員謝礼等 需用費：記念品購入等 役務費：郵送料等 委託料：40周年事業等 負担金補助交付金：博物館運営補助等		報償費：委員謝礼等 需用費：記念品購入等 役務費：郵送料等 委託料：認定事業者写真撮影 負担金補助交付金：博物館運営補助等		報償費：委員謝礼等 需用費：記念品購入等 役務費：郵送料等 委託料：認定事業者写真撮影等 負担金補助交付金：博物館運営補助等	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	小さな博物館・工房ショップ・マイスター新規認定数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		3	令和7年度	目標	3	3	3	3
				実績	2	2	0	3
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	3	3	3	3	3
		実績	2	3	1	1	2	2
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		拠点等の増加に伴い対外的なPRを実施することができ、区内産業のイメージアップにつながるため						
事業の成果	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	活動報告書記載の貢献度「思う・やや思う」回答の割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		85	令和7年度	目標	—	—	—	70
				実績	—	—	—	52
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	70	75	75	80	80	85
		実績	62	74	69	73	73	61
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		参加事業者が事業を通じ認知度を向上させることが区内産業・生産品の評価向上につながるため ※本指標に係る調査は、令和元年度活動分より開始した。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	3M運動の開始から40年超が経過し、社会やまちの変化、区の新たな産業振興の取組の開始等、様々な変化が生じていることをふまえて、事業の見直しを進めていく。

課題・問題点
・3M運動の役割や位置付けを改めて明確にしていくこと。 ・社会情勢等をふまえて、3M運動のアップデートを図っていくこと。

No. 6

予算・決算額推移（単位：千円）		令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
予算現額（令和８年度は当初予算）		7,494	5,031	6,000	5,704	5,818	6,188
A. 決算額（令和８年度は見込み）		4,874	4,148	3,897	4,210	3,742	6,188
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		4,874	4,148	3,897	4,210	3,742	6,188
執行率（％）		65.04％	82.45％	64.95％	73.81％	64.32％	100％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	小さな博物館認定数（年度内合計）				単 位	館
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		37	令和 7 年度	目標	29	30	31	32
				実績	29	29	29	25
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	33	33	34	35	36	37
		実績	24	23	24	24	24	25
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		拠点が維持・増加することで、区内産業のイメージアップにつながるため						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	活動報告書における貢献度「思う」「やや思う」の割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		85	令和 7 年度	目標	—	—	—	70
				実績	—	—	—	63
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	70	75	75	80	80	85
		実績	76	87	75	79	79	72
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		参加事業者が事業を通じ、認知度等を向上させることが、区内産業と区内生産品の評価向上につながるため ※本指標に係る調査は、令和元年度活動分より開始した。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	3 M運動の開始から40年超が経過し、社会やまちの変化、区の新たな産業振興の取組の開始等、様々な変化が生じていることをふまえて、事業の見直しを進めていく。

課題・問題点
・ 3M運動の役割や位置付けを改めて明確にしていくこと。 ・ 社会情勢等をふまえて、3M運動のアップデートを図っていくこと。

令和 8 年度 補助金評価シート

No. 6

補助金名	工房ショップ整備補助金		
主管課	産業振興課	電話番号（内線）	5442
根拠法令	すみだ工房ショップ支援要綱		
補助概要	区内産業と区内生産品のイメージアップのために認定している「工房ショップ(Manufacturing Shop)」について、施設整備・改修費の補助を行っている。		
目 的	区内産業と区内生産品が「正当な評価」、さらに「より高い評価」を受けるようにするため、「工房ショップ(Manufacturing Shop)」を認定し、施設整備・改修費の補助を行うことでイメージアップを図る。		
対 象	3 M運動「工房ショップ」運営事業者		
基 準	区独自基準		
補助条件	【初回活用時】 補助率2分の1、補助上限額150万円 【2回目以降】 ・ 前回の工房ショップ整備補助金活用年度の4月1日から、3年以上経過していること。 ・ 補助率2分の1、補助上限額45万円		
経 過	開始年度	平成10年度	終了予定
	平成10年度	工房ショップ認定開始	
	平成30年度末	認定更新制の導入等のための要綱改正	
	令和元年度	認定更新制導入	
	令和2年度	工房ショップ整備補助金の2回目以降の補助上限額、再度補助を受けられるまでの期間を改正	
議会質問の状況	[平成28年4月] 観光回遊について [平成28年11月] 外国人向けツアー及び外国語パンフレットについて [平成30年11月] 工房ショップにおけるキャッシュレス化について [令和元年6月] 3 M運動の成果及び小さな博物館の改善について [令和元年11月] 3 M運動の成果について		
その他特記事項	なし		

予算・決算額推移（単位：千円）		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
予算現額（令和 8 年度は当初予算）		1,500	1,500	1,500	1,500	1,950	1,950
A. 決算額（令和 8 年度は見込み）		1,015	0	450	450	1,500	1,950
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		1,015	0	450	450	1,500	1,950
執行率（％）		67.67 %	－ %	30 %	30 %	76.92 %	100 %

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	工房ショップ新規認定数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		37	令和 7 年度	目標	1	1	1	1
				実績	0	1	0	0
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1	1	1	1	1	1
		実績	0	0	0	1	0	1
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		認定拠点の増加により、区内産業のイメージアップにつながるため ※最終目標値は工房ショップ認定数を記載している。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	活動報告書における貢献度 思う・やや思うの割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		85	令和 7 年度	目標	—	—	—	70
				実績	—	—	—	70
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	70	75	75	80	80	85
		実績	44	59	65	76	76	60
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		参加事業者が事業を通じ、認知度等を向上させることが、区内産業と区内生産品の評価向上につながるため ※本指標に係る調査は、令和元年度活動分より開始した。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	3 M運動の開始から40年超が経過し、社会やまちの変化、区の新たな産業振興の取組の開始等、様々な変化が生じていることをふまえて、事業の見直しを進めていく。

課題・問題点
・ 3M運動の役割や位置付けを改めて明確にしていくこと。 ・ 社会情勢等をふまえて、3M運動のアップデートを図っていくこと。

令和 8 年度 補助金評価シート

No. 6

補助金名	マイスターものづくり事業補助金		
主管課	産業振興課	電話番号（内線）	5442
根拠法令	マイスターものづくり事業補助要綱		
補助概要	区内産業と区内生産品のイメージアップのために認定している「マイスター(Meister)」について、活動経費の補助を行っている。		
目 的	区内産業と区内生産品が「正当な評価」、さらに「より高い評価」を受けるようにするため、「マイスター(Meister)」を認定し、PR活動等の経費の補助を行うことでイメージアップを図る。		
対 象	3 M運動「マイスター」認定者		
基 準	区独自基準		
補助条件	展示会、講習会等、技術の継承に資する活動に要する経費の補助 補助率3分の2、45万円限度		
経 過	開始年度	平成1年度	終了予定
	平成元年度	マイスター認定開始	
	平成30年度末	認定更新制の導入等のための要綱改正	
	令和元年度	認定更新制導入	
議会質問の状況	[平成28年4月] 観光回遊について [平成28年11月] 外国人向けツアー及び外国語パンフレットについて [令和元年6月] 3 M運動の成果及び小さな博物館の改善について [令和元年11月] 3 M運動の成果について		
その他特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		1,350	1,350	1,350	1,350	1,350	1,800
A. 決算額（令和8年度は見込み）		744	1,633	1,305	1,218	1,665	1,800
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		744	1,633	1,305	1,218	1,665	1,800
執行率（％）		55.11％	120.96％	96.67％	90.22％	123.33％	100％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	補助金活用件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		5	令和 7 年度	目標	3	3	3	3
				実績	3	1	3	4
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	4	4	4	5	5	5
		実績	3	3	7	5	6	8
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		マイスターのPR活動実績に比例し、補助金活用件数の増加が見込まれるため						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	活動報告書における貢献度 思う・やや思うの割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		85	令和 7 年度	目標	—	—	—	70
				実績	—	—	—	62
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	70	75	75	80	80	85
		実績	62	72	67	67	67	54
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		参加事業者が事業を通じ、認知度等を向上させることが、区内産業と区内生産品の評価向上につながるため。 ※本指標に係る調査は、令和元年度活動分より開始した。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	3 M運動の開始から40年超が経過し、社会やまちの変化、区の新たな産業振興の取組の開始等、様々な変化が生じていることをふまえて、事業の見直しを進めていく。

課題・問題点
・ 3M運動の役割や位置付けを改めて明確にしていくこと。 ・ 社会情勢等をふまえて、3M運動のアップデートを図っていくこと。